

普及活動情勢報告（令和7年2月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

自分たちの住む町の農業を見てみよう！ ～幡多農業高校出前授業～



1月24日、幡多農業高校の1年生38名を対象に出前授業を開催し、関係機関7名が講師として参加しました。

農業改良普及課からは、農業担い手育成センターや農業大学校について紹介し、四万十市、黒潮町、三原村の新規就農担当者から、地域農業の特徴や支援体制などについて説明しました。

生徒からは「農業はどれくらい儲かるのか？」「品目ごとに収益が変わるのか」といった質問があり、農業への関心を高めることが出来ました。

今後も就農促進に向けた市町村の活動を支援します。

直七栽培部会設立総会の開催 ～直七栽培部会～



1月28日、宿毛市文教センターで直七栽培部会設立総会が開催され、生産者25名、関係機関17名が参加しました。

農業改良普及課からは、病虫害の発生状況や防除暦（案）、耕種防除などについて説明しました。

生産者からは、「そうか病や赤衣病の対策を教えてください」「展着材の加用は？」「カミキリムシ対策は？」など、熱心に質問がありました。

今後も個別巡回などを通して情報提供し、栽培技術の向上と適期防除による安定生産に向け支援していきます。

今作のトマトの生育状況を確認！ ～JA高知県中村支所トマト部会勉強会～



2月4日、JA中村支所やさい集荷場でトマト勉強会が行われ、トマト部会生産者4名、関係者3名が参加しました。

農業改良普及課からは、今作の気象や生育調査の経過を報告し、今後の温度設定等の栽培管理について講習を行いました。

生産者からは、「樹勢が弱った時の温度管理を教えてください」「トマトの温度管理は20℃以上必要と考えていたが、どのような温度管理をしたらよいか？」「糖度と生育のバランスの関係性は？」などの質問が出され、活発に意見交換が行われました。

今後も生育調査や勉強会を通して、収量アップにつながる支援を行っていきます。

雇用者一人ひとりを大事にする経営を！ ～「働きやすい環境づくり」研修～



2月5日、四万十市名鹿の「ファームヤマモト」事務所で、農村女性リーダーを中心とした県主催の先進事例研修が行われ、生産者8名、県関係者3名が参加しました。

ファームヤマモトのマネージャーが講師となり、農場内での人材の配置・育成、就業規則の工夫や県事業を活用した女性用トイレの整備などを説明し、参加者はその取組に感心していました。

農業改良普及課は、講師の資料作成や開催支援を行いました。

今後も管内の経営体に対し、若者や女性が働きやすい職場環境づくりへの情報提供や働きかけなど、積極的に支援します。

今作の振り返りと次作の検討 ～JA高知県中村支所露地部会総会～



2月6日、四万十市のJA高知県幡多地区本部で中村支所露地部会総会が開催され、生産者8名、関係機関8名が参加しました。

農業改良普及課からは、農地の貸借制度の変更、農薬の安全使用などについて説明し、SAWACHIの導入を推進しました。

今年は何の品目も、植付時の天候不順や猛暑によって、昨年より収量や販売金額が減少しており、参加者は次作に向けて対策を話していました。

今後も関係機関と連携し、露地作物の増収に向けて支援していきます。

今の産地の状況は？ ～黒潮町若手キュウリ現地検討会～



2月10日、黒潮町早咲の生産者ほ場で黒潮町若手キュウリ現地検討会が開催され、生産者14名、関係機関6名が参加しました。

農業改良普及課からは、生育状況や今後の栽培管理について説明し、JAからは先の育苗会社の視察報告がありました。

参加者からは、厳寒期のかん水方法などについて質問があり、生産者同士でも活発な意見交換につながりました。

今後も現地検討会など生産者間での交流を通して、若手生産者の栽培管理技術の向上を支援していきます。